

ディスコグラフィー収録

ディスコグラフィー【2018No.110】(HP 収録)

分類：MQA/UHQCD

作曲家：ブラームス

曲名：交響曲第1番

演奏：カール・ベーム指揮ベルリンフィル

発売：Universal Music

No. : UCCG-40081

概要：



発売元サイトの解説と収録曲は次のとおりです。

「ベームが65歳のときにベルリン・フィルハーモニーを指揮した壮年期を代表するステレオ最初期の録音です。熱気を孕んだ指揮ぶり、オーケストラの威力のある音と卓越した表現力が一体となって、極めて勇壮な演奏が実現しています。ベームの数多い録音のなかでもひとときわ光彩を放っている一枚です。(1959年録音/2011年マスター)オリジナル・テープから独 Emil Berliner Studios にて2016年に制作したDSDマスターを352.8 kHz/24bitに変換して収録」

交響曲 第1番 ハ短調 作品68

第1楽章: Un poco sostenuto - Allegro - Meno allegro

第2楽章: Andante sostenuto

第3楽章: Un poco allegretto e grazioso - attacca:

第4楽章: Adagio - Piu Andante - Allegro non troppo, ma con brio - Piu Allegro

CDドライブからfidata HFAS1-S10に一旦リップングし、WAV音源をHFAS1-S10から読み出して、Brooklyn DAC+のUSB端子にUACU-700経由で入力して聴いてみました。

新しい録音と比べてみる対照として、BPODCKから下記を選んでみました。

2017.1.21 収録 プロムシュテット指揮ベルリンフィル



2014.9.18 収録 ラトル指揮ベルリンフィル



2013.5.10 収録 ヤープ・ファン・ズヴェーデン指揮ベルリンフィル



ベーム指揮のベルリンフィルの MQA-CD 盤は、堂々とした豪壮な出だしから、流れるような抒情性に溢れた表現まで、ベームのかつちりとした緻密な音楽の構成が、MQA のフォーマットで表現されています。

これに対する、ブロムシュテット指揮ベルリンフィルの BPODCH、ラトル指揮ベルリンフィルの BPODCH、ズヴェーデン指揮ベルリンフィルの BPODCH は、いずれも指揮は変わってもベルリンフィルのブラームスであり、豪壮で厚みのある出だしから、メランコリックな抒情性あふれるところまで、ベルリンフィル大ホールの響きがブラームスらしさを支えています。これらの中で、音質は、2017年収録のブロムシュテット指揮が一番すぐれています。なお、ズヴェーデンはあまり名前を聴かない指揮者ですが、ヤンソンスの都合により急遽指揮をすることになったものです。

以上